

2019 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 静岡厚生会

社会福祉法人 静岡厚生会

経 営 理 念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

安定した経営

介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。

地域への貢献

法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。

適切な支援

法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

行 動 指 針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます。

総 括

本年度は、第7期介護保険事業計画（3ヶ年）の中間となる二年目の年でしたが、10月からの消費増税や、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内感染者の増加と経済的打撃など、取り巻く経営環境が大きく変化した年でした。

特に、上半期においては、消費増税を見込んで基本電力をはじめ委託業務の範囲や仕様、保守契約業者等の固定費コストの見直しを行い大幅な経費抑制を行いました。

こうした経営努力の中で、9月に経営難を理由に静岡市内の3つの特養を閉鎖する社会福祉法人の記事が報道で取り上げられるようになり、不安を抱く家族や利用者、職員も少なくなかったことと思います。

このため、本会においては、法人認可40周年を機に、地元新聞社への掲載やラジオへの出演など通じて、「厚生苑」として「安心と安全」を発信して届けることにしました。

また、これまでの感謝と共に60名余の地域で暮らす高齢者の方々に招いて、地域関係者と日本平の夢テラスと運動公園への遠足を実施し、大変多くの方々に喜んでいただきました。

働きやすい「ライフワークバランス」への取組みと業務の負担軽減と効率化を進めるため、昨年度から職員間で進めてきた「厚生苑働き方改革委員会」では、国際介護機器展への視察や先端機器や介護記録ソフトなどのICTの試行的導入と検証を行い、雇用助成金を活用して介護スーツや移乗サポートロボットの導入を行いました。

10月からは、消費増税を財源とする新たな賃金改善のための給付制度（特定処遇改善給付）を活用して、従来の処遇改善に加えて更に手当の給付を行うことができました。

この他、本年度の中途採用はじめ新卒内定者が7名となり、近年では最多となる12名の人材を確保することができました。

こうした様々な環境の変化に対して、次年度も果敢に挑戦していきながら、引き続き高齢者の安心・安全な暮らしや生活が守れるよう地域の福祉活動にも取り組んでいきたいと思いをします。

また、収束の見通しが立たない新型コロナウイルスでは、高齢者の重篤率や死亡率が極めて高く国内における集団感染例が多発していることから、感染予防対策本部を中心に必要な予防対策を引き続き講じていきたいと思いをします。

つきましては、引き続き皆様方のご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

社会福祉法人 静岡厚生会

理事長 内藤 孝二

【法人の強化対策】

- 2019年
- 04月・仕事と育児の両立セミナー開催
〔講師：石上社会保険労務士事務所 石上未紀所長〕
 - ・働き方改革委員会によるアンケート実施
 - 05月・高齢者の外出支援事業(安西おでかけ号) 地域活性のためエリア拡大
 - ・一般事業主行動計画(第2期)認定(くるみんマーク2つ星)
 - ・ユニフォーム貸与開始(介護職員)
 - 06月・静岡厚生会 第21期役員就任〔任期：2021年6月まで〕
 - ・新緑の郷ケアマネジメントサービス 事業再開
 - ・介護職員 処遇改善一時金支給〔9月・12月・3月：年4回〕
 - ・施設長退任(清流の郷 中川恵美子)
 - 07月・施設長就任(清流の郷 中山千砂子・新緑の郷 武田 剛)
 - ・各種委託業務の順次更改により経費削減を実行
 - ・夜間警備業務委託を終了し施設駐在員を配置
 - ・介護職員実務者研修指定養成校認可 講座開講〔～12月〕
 - 08月・働き方改革委員会による名古屋福祉機器展視察
 - ・第1回 JA 静岡市提携委員会みずほの郷検討作業部会開催
 - 09月・第2回 JA 静岡市提携委員会みずほの郷検討作業部会開催
 - 10月・令和元年台風19号ボランティア支援 311千円寄付
〔静岡県ボランティア協会 法人150.5千円・役職員150.5千円〕
〔全国老人福祉施設協議会 法人 10.0千円〕
 - ・有償(ふれあい)ボランティア意見交換会実施
 - 11月・法人設立認可(1979年11月26日 厚生大臣認可)40周年
 - ・創立40周年記念事業
安西おでかけ遠足(行先：日本平夢テラスほか)実施
SBSラジオ番組出演、静岡新聞朝刊広告掲載
 - 12月・働き方改革委員会の提案により介護機器を導入
 - 移乗サポートロボット Hug 7台
 - パワーアシストスーツ Aero Back 6台
 - ・新緑の郷デイサービス拡大会議(外部居宅支援事業所との意見交換)
- 2020年
- 01月・介護職員 特定処遇改善一時金支給〔3月・5月：年3回〕
 - ・ふじのくに健康づくり推進ホワイト事業所認定
 - 02月・受動喫煙対策のため清流の郷に喫煙ルーム設置〔使用3月～〕
 - ・厚生苑新型コロナウイルス感染対策合同本部設置
 - 03月・感染症対策合同本部による感染予防対策の実施
 - 行動指針策定、衛生備品の一括管理、全職員へマスク配布実施 等
 - ・介護福祉士取得支援 職員合格者2人／4人中
〔本会合格率50.0%：全国平均69.9%〕
 - ・新卒者8人採用確定〔第二新卒者(新卒3年未満)1人含む〕

1. 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 内藤 孝二
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 1979年 11月 26日
- 5 登記日 1980年 1月 23日
- 6 組織

〔顧問〕	鈴木 脩造	〔役員〕	理事長	内藤 孝二
〔相談役〕	芹澤 博		副理事長	寺尾 恵亘
〔評議員〕	鈴木 文隆		専務理事	松田 晃
	鈴木 洋一		理事	中山千砂子
	谷 功		理事	中川恵美子
	坂部 俊一		理事	海野フミ子
	坂野 浩義		監事	長嶋 吉宏
	小野田ふみ子		監事	大石 哲生
	河俣 貴之			
	吉田 圭佑			

〈2020年3月31日現在〉

7 活動拠点

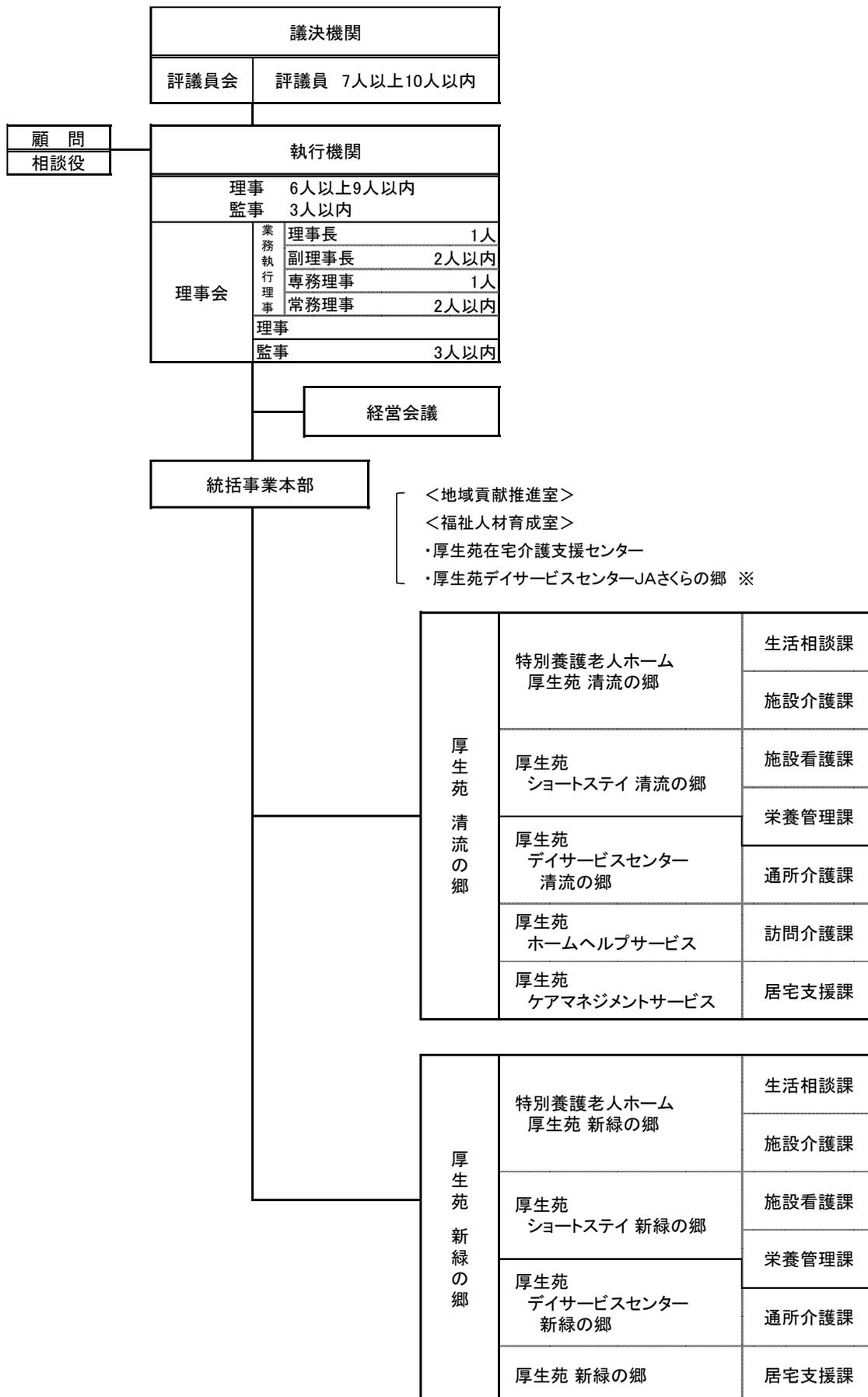
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m ²	643.54 m ²	鉄骨 3階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m ²	6,358.75 m ²	鉄骨 4階建
厚生苑 JAみずほの郷	静岡市駿河区みずほ 1-34-17	353.00 m ²	171.14 m ²	鉄骨 平屋
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m ²	3,350.73 m ²	鉄骨 4階建

8 実施事業

事業部門 (管理者)	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 (施設長 中山千砂子)	特別養護老人ホーム	120人	1980年 6月 1日
	ショートステイ (空床利用)	－人	1982年 11月 12日
	デイサービスセンター	35人	1996年 4月 1日
	ケアマネジメントサービス	－	1999年 10月 1日
	ホームヘルプサービス	－	1996年 4月 1日
厚生苑 新緑の郷 (施設長 武田 剛)	特別養護老人ホーム (10床休止中)	50人	2005年 9月 1日
	ショートステイ (空床利用)	－人	2005年 9月 1日
	デイサービスセンター	35人	2005年 9月 1日
	ケアマネジメントサービス (再開)	－	2010年 9月 1日
厚生苑 さくらの郷 (責任者 松田 晃)	デイサービスセンター (休止中)	20人	2009年 4月 1日
	在宅(老人)介護支援センター	－	2017年 7月 3日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会



※ 休止中事業所

10 職員配置状況

		雇用形態	管理者	介護職員	訪問介護員	看護職員	機能訓練指導員	主任介護支援専門員	生活支援専門員	管理栄養士	労務職員	運転手	施設駐在員	統括本部付	産休育休者	総計	
厚生苑 さくらの郷	統括事業本部	正規職員	2											2	6	10	
		有期職員				1					1				1		3
		計	2			1					1				3	6	13
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員															
		有期職員													1		1
		計													1		1
	拠点計	正規職員	3												2	6	10
		有期職員				1						1			2		4
		計	3			1						1			4	6	14
厚生苑 清流の郷	施設介護	正規職員	1	45		3	1		2	2				1		55	
		有期職員		7		6	1		1		2		4				21
		計	1	52		9	2		3	2	2		4	1			76
	通所介護	正規職員							3								3
		有期職員		7		2	1						1				11
		計		7		2	1						1				14
	居宅介護支援	正規職員						1	1								2
		有期職員						1	3								4
		計						2	4								6
	訪問介護	正規職員			2												2
		有期職員			10												10
		計			12												12
	拠点計	正規職員	1	45	2	3	1	1	6	2					1		62
		有期職員		14	10	8	2	1	4		2	1	4				46
		計	1	59	12	11	3	2	10	2	2	1	4	1			108
	厚生苑 新緑の郷	施設介護	正規職員	1	16		3			1					1		22
			有期職員		3		1				2			4			10
			計	1	19		4				1	2		4	1		32
通所介護		正規職員		1					2								3
		有期職員		3		2	1		2				1				9
		計		4		2	1		4				1				12
居宅介護支援		正規職員	1														1
		有期職員															
		計	1														1
拠点計		正規職員	2	17		3			3						1		26
		有期職員		6		3	1		2	2			1	4			19
		計	2	23		6	1		5	2			1	4	1		45
法人全体	正規職員	5	62	2	6	1	1	9	2					4	6	98	
	有期職員		20	10	12	3	1	6	2	3	2	8	2			69	
	計	5	82	12	18	4	2	15	4	3	2	8	6	6		167	

2020年3月31日現在(単位:人)

II. 法人運営状況

1 理事会（開催回数 5 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 172 回)	2019年5月30日(水) 午後2時00分から午後3時30分まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	6人/6人 〔2人/2人〕	報告	①理事長専決事項 ②理事長及び業務執行理事の業務執行状況
			議題	①計算書類・事業報告の承認の件 ②第21期役員を選任 ③居宅介護支援事業所の再開の件 ④重要な人事の件 ⑤定時(第64回)評議員会の開催と招集の件
2 (第 173 回)	2019年6月19日(水) 午後4時20分から午後4時40分まで 於：厚生苑さくらの郷 1階 役員会議室	6人/6人 〔2人/2人〕	議題	①代表理事(理事長)の選定の件 ②業務執行理事の選定の件 ③副理事長の選定の件 ④専務理事の選定の件 ⑤常勤役員報酬年額の件 ⑥顧問・相談役の選任の件 ⑦第三者委員の選任の件 ⑧規則の変更の件
3 (第 174 回)	2019年11月7日(木) 午後12時45分から午後12時55分まで 於：厚生苑さくらの郷 1階 役員会議室	5人/6人 〔2人/2人〕	議題	①第65回評議員会の招集の件
4 (第 175 回)	2019年12月18日(水) 午後3時00分から午後3時50分まで 於：クーパー会館 2階 有明	6人/6人 〔2人/2人〕	報告	①理事長専決事項 ②理事長及び業務執行理事の業務執行状況 ③2019年度 上半期の経営状況に関する報告
			議題	①第一次収支補正予算案の件
5 (第 176 回)	2020年3月25日(水) 午後3時00分から午後4時20分まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	6人/6人 〔1人/2人〕	報告	①理事長専決事項
			議題	①2019年度 最終収支補正予算案の件 ②2020年度 当初収支予算及び事業計画の件 ③諸規程規則の一部改正の件 ④2020年度 短期資金の借入の件 ⑤業務委託契約の更新の件

2 評議員会（開催回数 2 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 64 回)	2019年6月19日(水) 午後2時00分から午後4時05分まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	7人/8人 〔2人/2人〕	議題	①2018年度事業報告及び計算書類承認の件 ②第21期役員を選任の件
			報告	①2019年度 事業計画・収支予算書の報告 ②重要な人事の報告
2 (第 65 回)	2019年12月18日(水) 午後4時00分から午後5時10分まで 於：クーパー会館 2階 有明	8人/8人 〔2人/2人〕	報告	①2019年度 上半期収支状況の報告 ②2019年度 第一次収支補正予算の報告

3 監査（開催回数 3 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
監事監査〔決算監査〕 2019年5月22日(水) 午前9時30分から午後3時05分まで 統括事業本部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監 事 長 嶋 吉宏 大石 哲生 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 本部部長 江田 仁 厚生苑 清流の郷施設長 中川 恵美子 厚生苑 新緑の郷施設長 中山 千砂子	「監事のための監査チェックマニュアル改訂第12版」による 2018年度 決算監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、社会福祉充実計画、事業報告及び附属明細書 (会計監査) 予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設

開催日時等	実施立会	監査項目
監事監査[定期監査] 2019年11月7日(木) 午前9時30分から午後3時40分まで 統括事業本部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監事 長 長 吉宏 大石 哲生 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 本部部長 江田 仁 厚生苑 清流の郷施設長 中山 千砂子 厚生苑 新緑の郷施設長 武田 剛	「監事のための監査チェックマニュアル改訂第12版」による 2019年度 定期監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉充実計画 (会計監査) 内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設
静岡市指導監査 (実施:静岡市福祉総務課) 2020年1月28日(火) 午前9時30分から午後3時15分まで 統括事業本部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監事 長 長 吉宏 理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 本部部長 江田 仁 厚生苑 清流の郷施設長 中山 千砂子 厚生苑 新緑の郷施設長 武田 剛	「2019年度 社会福祉施設(特別養護老人ホーム)指導監査資料」による監査 (社会福祉施設指導監査) ・ 処遇関係 ・ 会計/経理関係 ・ 運営/管理関係

4 主要会議・行事

(1) 経営会議(開催回数12回)

上半期	2019年 4月18日(木)	下半期	2019年 10月25日(金)	出席者	理事長 内藤 孝二
	5月16日(木)		11月19日(火)		副理事長 寺尾 恵亘
	6月17日(月)		12月13日(金)		専務理事 松田 晃
	7月18日(木)		2020年 1月21日(火)		理事 中山千砂子
	8月22日(木)		2月20日(木)		理事 中川恵美子
	9月19日(木)		3月18日(水)		理事 海野フミ子
					ほか他部職員

(2) JA静岡市高齢者福祉事業提携委員会

開催日時	2019年 7月17日(水) 午後3時30分から午後4時50分まで 於: JA静岡市 本店3階 小会議室	委員会	委員長 芹澤 博 委員 青山 吉和 榎本 雅亮 海野フミ子 松田 晃 中山 千砂子	オブザーバー	静岡県 厚生農業協同組合連合会 静岡厚生病院 事務長 藤枝 和彦氏
------	--	-----	--	--------	--

(3) 顧問・相談役報告会

開催日時	2019年 7月18日(木) 午前11時15分から午後0時00分まで 於: 椿亭	出席者	相談役 芹澤 博	報告者	理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 理事 中山千砂子 本部部長 江田 仁
------	--	-----	----------	-----	---

(4) 経営分析会議

開催日時	2019年10月18日(火) 午後3時30分から午後5時10分まで 於：中島屋グランドホテル 4階 アイリス	講師	杉山公認会計事務所 所長 杉山 明喜雄 「2018年度決算分析」 石上社会保険労務士事務所 代表 石上 未紀 「同一労働同一賃金について」	出席者	理事長 内藤 孝二 副理事長 寺尾 恵亘 専務理事 松田 晃 理事 中山千砂子 理事 中川恵美子 理事 海野フミ子 監事 長嶋 吉宏 取引先金融機関ご担当者 及び本会幹部職員
------	---	----	--	-----	---

(5) 次年度新卒者内定式

開催日時	2019年11月25日(月) 午前11時30分から正午まで 於：クーポール会館 4階 出雲	採用者	高校生 2人 大学生 4人 第2新卒 1人 計7人(当日欠席1人)	出席者	理事長 内藤 孝二 専務理事 松田 晃 理事 中山千砂子
------	--	-----	--	-----	------------------------------------

5 地域貢献事業

(1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

高齢者の日頃の生活課題への対応を通じて高齢者福祉の充実と地域福祉の推進のため、福祉法で定める老人介護支援事業を運営しています。

本年度も高齢者の相談事業の他、安西地区社会福祉推進協議会の理事会や運営委員会の例会に加わり、地域住民の福祉活動を支援するため、安西ふれあいフェスタやS型デイサービスへの職員派遣協力や、安西学区地域交流サロン「い〜とこあんざい」等の活動支援を行いました。特に今年度は、児童委員に協力して、夏休み期間の8日間、冬休み期間の4日間の計12日間施設を開放して、学習機会の場を提供し、延べ91名の児童の利用がありました。

また、秋には、本年度の法人設立40年を記念して、日本平を目的地とした地域の高齢者の方々との遠足を企画しました。希望者が大変多かったため、抽選を変更して2日間に分けて希望者全員(延べ64名)の方々を招待しました。両日共に天候に恵まれ、富士山や駿河湾も綺麗で大変喜ばれました。その他、安西地区社協主催の地域で生まれた赤ちゃんの写真展”ピヨピヨ写真展“に協力、11月2日から10日まで、土日祝日を含む10日間、さくらの郷1階スペースを提供、延べ250名余の来場者がありました。

更に、地域民生委員及び有志により発足した「静岡市でん伝体操厚生苑さくらの郷」への協力を行い、毎週木曜日の定例開催で毎週多くの地域高齢者の参加があります。体操終了後には、口腔ケア講習や交通安全教室開催などがあります。

本年度は、三番町地区社会福祉推進協議会の高齢者部会にも参加し、寝たきり老人介護講習「家庭でできる介護」の第1回講習会を清流の郷にて開催しました。第2回は新型コロナウイルス感染症予防対策の為、中止となりました。

その他、こうした住民の地域福祉活動に寄与できるよう安西地区の地域福祉推進協議会や民生児童委員協議会の定例会にも出席し、地域の方々との福祉の連携の強化に努めました。

① 地区別 年間相談件数

地区	安西	番町	圏域外	匿名	合計	他機関紹介
相談人数	0人	0人	1人	1人	2人	2人
対応件数	0件	0件	1件	1件	2件	2件

② 相談内容（相談内容により複数にカウント）

相談内容	総計	相談内容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援		退院に関する相談	
認知症の相談		障害に関する相談	
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他		地域の情報提供（S型デイ等）	
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談	1件	総計	2件

③地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い〜とこあんざい」のサポート

イ) しぞ〜か でん伝体操 厚生苑さくらの郷会場の開催支援

ウ) S型デイサービス ひまわりの会（末広町公民館）への応援職員の派遣

*でんでん体操・S型デイサービスは2月後半から、い〜とこあんざいは3月から
新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、休止しました。

月	い〜とこあんざい		でん伝体操		S型デイサービス
	開催回数	利用者数	開催回数	利用者数	応援回数
4月	4回	19人	4回	148人	2回
5月	4回	43人	4回	156人	2回
6月	4回	31人	4回	145人	2回
7月	4回	27人	4回	127人	1回
8月	5回	24人	5回	147人	2回
9月	4回	27人	4回	127人	2回
10月	4回	27人	5回	181人	2回
11月	5回	35人	4回	145人	2回
12月	4回	26人	3回	119人	1回
1月	4回	30人	4回	146人	2回
2月	4回	25人	3回	107人	1回
3月	0回	0人	0回	0人	0回
合計	46回	314人	45回	1,548人	19回

(2) 安西おでかけ遠足事業（法人創立 40 年記念事業）

設立 40 周年を記念して、日頃出かける機会の少ない安西学区の高齢者の方をご招待し、久能海岸沿い経由で日本平運動公園と夢テラスまで遠足に出かけました。

開催日	参加者	ボランティア	役員・職員	計
1 回目 11 月 8 日 (金)	34 人	4 人	5 人	43 人
2 回目 11 月 15 日 (金)	30 人	4 人	5 人	39 人
計	64 人	8 人	10 人	82 人

(3) 高齢者の外出支援事業（福祉車両の無料貸出・おでかけ安西号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出等が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両 軽自動車）の貸し出しを行う事業です。

	4 月	7 月	10 月	1 月	計
貸出 件数	1 件	0 件	0 件	1 件	4 件
	5 月	8 月	11 月	2 月	
	2 件	0 件	0 件	0 件	
	6 月	9 月	12 月	3 月	
	0 件	0 件	0 件	0 件	

(4) 地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマニパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。

登録制で、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。利用者もボランティアのなじみの顔が見られて安心といった声も聞かれるようになり、ボランティアの方々もやりがいを感じておられるようでした。活動が 1 年を経過するにあたり交流会を開催し、これからも頑張っていていきたいとの意見が聞かれました。

月	登録者	予定	実績	月	登録者	予定	実績
4 月	10 名	35 回	33 回	10 月	10 名	32 回	29 回
5 月	10 名	41 回	31 回	11 月	10 名	28 回	28 回
6 月	10 名	31 回	31 回	12 月	10 名	26 回	22 回
7 月	10 名	32 回	33 回	1 月	10 名	29 回	22 回
8 月	10 名	30 回	26 回	2 月	10 名	25 回	17 回
9 月	10 名	29 回	24 回	3 月	10 名	27 回	※0 回
				計	120 名	365 回	296 回

※新型コロナウイルス感染予防対策として中止

(4) 生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

2015 年 4 月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業で 2018 年 9 月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流

の郷の介護の補助業務の体験就労を提供することになりましたが、本年度の利用はありませんでした。

6 第三者委員会苦情解決報告会・優先入所判定会の開催状況

回数	実施日	開催方法	苦情件数	
			清流の郷	新緑の郷
1	4月25日	合同	－	－
2	5月29日	合同	居宅1件	－
3	6月26日	合同	－	－
4	7月30日	合同	特養1件	－
5	8月27日	合同	－	－
6	9月24日	合同	特養1件	－
7	10月30日	合同	－	－
8	11月28日	合同	－	特養1件
9	12月25日	合同	－	－
10	1月30日	合同	特養1件	－
11	2月27日	書面	－	－
12	3月27日	書面	－	特養1件
計			特養3件 居宅1件	特養2件

7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

(1) 新人研修…新卒採用職員の定着率及び基礎力向上を目的に年間を通じて研修会を開催した。

実施日	形式	項目	内容	出席者数
4月1日～8日	集合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	5人
4月25日	集合	振り返り	マナーカテスト	5人
5月7日～15日	個人	フォローアップ	業務内容・姿勢の確認	各1人×5
5月23日	集合	振り返り	ケアプラン振り返り	5人
5月20日	個人	振り返り	感染症振り返り	各1人×5
5月27日～31日	個人	個人面接	現在の悩み・次の目標など	各1人×5
6月4日	集合	医療研修	医療の基本知識の学習	5人
6月11日～12日	集合	技術研修	支援技術の振り返り	5人
8月16日	集合	職員モラル	マナーモラルチェック研修&課題検討	5人
10月7日～11日	個人	振り返り・確認	身体拘束廃止と虐待予防研修	各1人×5
10月22日	集合	社会参加	S型デイに参加	5人
11月22日	集合	振り返り・確認	フォローアップセミナー	4人
3月11日～13日	個人	基本技術評価	現状確認とフィードバック	中止

(2) 内部研修…内部研修会を開催した。

実施日	形式	対象者	内容	出席者数
9月4日	集合	2年目職員	報・連・相トレーニング研修	2人
10月3日	集合	5年目職員	コミュニケーション研修	4人

(3) 外部研修…職員のスキル及び職員の希望に沿って、外部の研修及び講習会に参加した。

月	研修	主催	清流の郷	新緑の郷	さくらの郷
4	実務者研修教員策講習会(5回)	静岡県介護福祉士会	1人	-人	-人
	SDGs 持続可能な社会を目指して	上川陽子後援会	1人	-人	-人
5	令和元年度 JA 介護保険事業新任管理者研修会(2回)	静岡県厚生農業協同組合連合会	1人	-人	-人
	県地域包括・在宅介護支援センター管理者・現任職員研修	地域包括在宅介護支援センター協議会	-人	-人	1人
	静岡県介護保険事業者連絡協議会研修会	静岡県介護保険事業者連絡協議会	1人	1人	-人
	福祉送迎運転者講習会	日本福祉車両協会	1人	2人	1人
6	政経セミナー	上川陽子後援会	-人	-人	1人
	認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー	静岡県社会福祉人材センター	2人	-人	-人
	高齢者の生と性		1人	1人	-人
	権利擁護・成年後見制度セミナー(基礎編)		1人	-人	-人
	介護技術講座(基礎編)		1人	-人	-人
	実務者研修教員策講習会(2回)	静岡県介護福祉士会	1人	-人	-人
	食中毒予防の為に衛生講習会	静岡市中央保健所	1人	1人	-人
	静岡県介護サポーター育成事業 説明会	静岡県	-人	-人	3人
7	社会福祉法人 主任/係長講座(2回)	静岡県社会福祉法人経営者協議会中部地区会 研修会	1人	-人	-人
	静岡県社会福祉法人経営者協議会中部地区会 研修会		-人	-人	1人
	社会福祉法人経営青年会 基礎講座(2回)		1人	1人	-人
	高口光子本気の介護講座	医療法人 百葉の会	1人	-人	-人
	風水害対策研修	静岡県社会福祉人材センター	1人	-人	-人
	コミュニティソーシャルワーカー養成研修(2回)		1人	-人	-人
	権利擁護・成年後見制度セミナー		1人	-人	-人
	介護技術講座(実践編)		1人	1人	-人
8	安全運転管理者・副安全運転管理者講習会	静岡県公安委員会	1人	1人	-人
	社会福祉法人 会計実務講座(3回)	中央福祉学院	-人	-人	1人
	名古屋福祉機器展	静岡県老人福祉施設協議会	3人	4人	1人
	社会福祉法人経営セミナー	静岡県社会福祉法人経営者協議会	-人	-人	2人
9	働き方改革を進める介護事業所の為に労務セミナー	静岡県介護労働安定センター	-人	-人	1人
	悔悟予防マネジメント新任者研修	静岡県	1人	-人	-人
	海洋新時代研修	上川陽子後援会	1人	-人	-人
	JA 高齢者福祉部事業研究会 居宅・訪問部会	静岡県厚生農業協同組合連合会	2人	-人	-人
	特定処遇改善加算説明会	静岡県	-人	-人	1人
	未来に向けた社会福祉法人の働き方改革セミナー	全国老人福祉施設協議会	-人	-人	1人
	関東ブロック老人福祉施設研究総会(発表2回)		3人	-人	-人
	関東ブロック老人福祉施設研究総会		6人	-人	-人
10	女性リーダー育成セミナー	静岡県老人福祉施設協議会	1人	-人	-人
	主任介護支援専門員研修(12回)	静岡県介護支援専門員協議会	-人	1人	-人
	静岡福祉大学 介護福祉士フォローアップセミナー	静岡福祉大学	1人	-人	-人

11	実務者研修（スクーリング 全8回）	社会福祉法人 静岡厚生会	5人	1人	-人
	令和元年度採用担当者研修会	静岡県社会福祉人材センター	-人	-人	2人
	福祉職合同入職式出席者フォローアップセミナー	静岡県社会福祉人材センター	4人	-人	-人
	防災・防犯・演習（DIG）について研修会	静岡県社会福祉法人経営者協議会	-人	-人	1人
	全国老人福祉施設大会（茨城大会2日間）	全国老人福祉施設協議会	1人	1人	-人
12	中長期計画策定セミナー	静岡県社会福祉法人経営者協議会	-人	-人	1人
	老人福祉施設協議会 研修	静岡市老人福祉施設協議会	-人	1人	-人
	静岡県介護支援専門員再研修(16回)	静岡県介護支援専門員協会	-人	1人	-人
1	静岡福祉大学相談援助実習指導者懇談会	静岡福祉大学	1人	-人	1人
	社会福祉施設長研修（スクーリング5回）	中央福祉学院	1人	-人	-人
	J A 高齢者福祉事業研究会「経営者・管理者合同部会」	静岡県厚生農業協同組合連合会	-人	-人	1人
	訪問介護員適正実施等 研修	静岡県	1人	-人	-人
2	介護職のための医学の基礎知識	静岡県介護労働安定センター	1人	1人	-人
	介護技術「ポジショニング・シーティング」（基礎編）		2人	-人	-人
	コミュニティソーシャルワーカー養成研修(2回)	静岡県社会福祉人材センター	1人	-人	-人
	在宅医療に関する意見交換会	静岡県静岡医師会	1人	-人	-人
	訪問介護員適正実施等 研修(2回)	静岡県	1人	-人	-人
年 間 合 計 (95人)			57人	18人	20人

*本年度は、新型コロナウイルス感染症拡散防止のために2月中旬から、集合研修が中止となりました。

(4) 受験結果

項目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員
受験者数	4人	4人	3人
合格者数	2人	2人	0人
合格率	50.00%	50.00%	0.00%

(5) 講習資格受講者・保有者

項目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員 講習	医療的ケア 教員講習	主任介護支援 専門員講習	防火管理者 講習
受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人
受講済者累計	16人	9人	8人	2人	4人	7人	10人

(6) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実習者数	6人	3人	2人	4人	4人	19人
受入延日数	115日	75日	10日	10日	16日	226日

（静岡福祉大学、静岡女子高等学校、英和学院大学、明光会ほか）

8 各種施設・事業所の計画と実績

『別冊に記載』

清流の郷

2019 年度

清流の郷 優先課題の総括

1. 「終の棲家」として利用者が安心して生活の出来る環境の整備
職員が「終の棲家」の意味を理解し、利用者が最期まで穏やかに生活できるよう他職種が連携し対応することができました。
2. 中重度及び終末期利用者に対応した介護技術研修の実施
新人職員研修以外に、新たに研修の機会を設けることはできませんでしたが、日々の業務の中で話し合い・教え合い、技術の向上に努めています。
3. サービスにおける人権の尊重と不適切な介護の予防
介護方法を理解していただかず、苦情につながってしまったケースがありました。今後は記録だけでなく、映像を用い家族への説明や職員の振り返りに活用していきたいと思えます。
4. 利用者家族との円滑な情報の共有と連携及び協働
日常的に利用者の変化を家族に連絡し、情報の共有を行いました。家族も含め連携を図り、利用者へ適切な介護を提供することができました。
5. 感染症や事故などのリスク管理の徹底
法人幹部職員からなる合同対策本部を設け、情報の共有や「持ち込まない・持ち出さない」意識を統一し、対策に取り組みました。
6. 地域と連携しボランティアの受け入れによる活躍の場の提供
ボランティアの方々とは意見交換会を設け、視点の異なる意見を現場に反映することができました。また、「やりがい・生きがい」に繋がっているという言葉もいただきました。
7. 仕事・育児・介護を考慮した柔軟な働き方のできる職場環境
育休明け・育短明けの職員と対応できる曜日や時間を話し合いながら、それぞれの部署のコアな部分を補ってあげることができました。
8. 職員一人一人に対応した、多様な働き方についての研究
職員の思いやプライベートに配慮しながらも、職員が協力できる時間帯が増えました。今後も「働き方検討委員会」を通して、多様な働き方に対応できる仕組みを探していきたいと思えます。
9. 在宅から施設へ移行期における切れ目のないサービスの提供
認知の進行や疾病により、急に自宅で生活できなくなった利用者の相談には空室利用のショートなどのサービスを提供しました。
10. 休止事業の再開準備や業務効率によるコストの削減
職員の退職や長期療養のため、今年度もショートを再開することができませんでした。次年度の1月再開に向けて、準備を進めていきます。

主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	1日(月)～
	厚生苑清流の郷・厚寿苑合同入所説明会(第1・第3水曜日)	毎月2回開催等
	運営会議(平成31年度の重要事項、事業目標、他)	16日(火)
5月	運営会議(ハラスメント対策、宿直員公募、新緑の郷居宅の再開、他)	14日(火)
	監事監査	22日(水)
	介護士会(食中毒、急変・事故発生時の対応、他)	17日(金)
6月	運営会議(施設長の変更、委託業務の見直し、監事監査結果、他)	13日(木)
	静岡ホーム園児来苑	13日(木)
	職員共済会総会	14日(金)
	英和女学院 花の日訪問	15日(土)
	静岡市老人福祉施設連絡会	18日(火)
7月	静岡女子高等学校介護実習	1日～12日
	運営会議(委託業務の見直し、執行部体制の変更、渡航届、他)	16日(火)
8月	職員健康診断	8月～9月
	ばんばん夏祭り	4日(日)
	運営会議(国保連調査、事故発生時の受診判断、介護機器展視察、他)	15日(木)
	介護士会(水神祭・清流の郷レク大会、紙おむつ研修会、身体拘束、他)	15日(木)
	静岡福祉大学社会福祉士・介護福祉士養成課程実習受入	19日～9月20日
	末広中職場体験実習	27日～29日
9月	敬老式典、各フロア敬老会	8日(日)他
	静岡市老人福祉施設連絡会	11日(水)
	運営会議(国保連調査、外部業務委託検討、柳町水神祭、他)	12日(木)
	柳町水神祭	23日(月)
	老人福祉施設研究発表 東海ブロック大会	27日(金)
10月	入所者健康診断	25・30・31日
	介護士会(夜間想定防災訓練、感染症対策について、他)	17日(木)
	運営会議(実習生の感想、防災訓練、他)	15日(火)
	総合防災訓練	28日(月)
11月	英和女学院 秋の収穫祭訪問	2日(土)
	上半期監事監査	7日(木)
	床面洗浄・ワックス塗布掃除	5日・8日
	入所者インフルエンザ予防接種	6日・21日
	運営会議(3特養廃止に伴う受け入れ、ストレスチェック、他)	15日(金)
12月	柳町町内会防災訓練	1日(日)
	静岡市老人福祉施設連絡会	10日(火)
	職員共済会忘年会	11日(水)
	運営会議(介護機器導入、事業所指定更新、静岡大企業説明会、他)	16日(月)
1月	年頭所感	6日(月)
	運営会議(経営会議・基幹会議報告、他)	14日(火)
	静岡市指導監査 静岡市高齢者福祉課	28日(火)
2月	運営会議(静岡市指導監査報告、職員の入退職・異動状況、他)	14日(金)
	介護士会(感染症対策、身体拘束について、他)	21日(金)
3月	職員腰痛検査	9・11・16日
	運営会議(喫煙ルーム設置、感染症対策、採用・退職職員、他)	13日(金)

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

ア. 運営概要

今年度は近隣の総合病院を退院と同時に入所と重度化だけでなく、複数の疾病を抱えた方々やガン末期の方も受け入れています。そのため、入所在籍期間も短く64名が退所され、多くの利用者を看取ることができました。厚生苑 清流の郷の特色である「看取り」を行い、利用者が安心して生活できる「終の棲家」として広く認識された結果だと思えます。

他特養で入所を断られたご家族からの相談も相次いでいます。また、市内3つの特養の突然の閉鎖に際して、定員を超える3名の受け入れや今までにない多くの入退所の動きがあった1年でした。

これらのことは職員にとっては精神的・身体的に厳しい状況となりました。各フロア共、若手職員が話しをしやすい雰囲気を作り、中堅・リーダー・課長が情報を共有し幾重にも精神的フォローができる体制作りに努めました。また、担当看護職員が常駐することで利用者の変化時に即座に相談できることは、介護職員の安心と技術の向上にも繋がりました。

身体面では、移乗ロボット Hug の導入で増加する男性利用者にも対応できましたが、活用範囲が狭く、引き続き日々の業務に浸透させる取り組みを継続していきます。

2月には新型コロナウイルスの感染から利用者を守るため、施設内での感染症対策を強化しています。今年度は有事の事柄が多く、職員が通常と異なる動きを求められることもありましたが、他職種と連携し一つ一つ乗り越えることができました。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2020年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	32	0	－	32
女	79	0	－	79
合 計	111	0	－	111

■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	－	－	－	－	－
	65～69	1	0	－	－	－	1
	70～74	3	1	－	－	－	4
	75～79	10	8	－	－	－	18
	80～84	3	15	－	－	－	18
	85～89	8	26	－	－	－	34
	90～94	4	16	－	－	－	20
	95～99	1	10	－	－	－	11
100～	2	3	－	－	－	5	
平均年齢		男 83.19 歳		女 87.95 歳		全 体 86.58 歳	

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	-	-	7	16	9	32
女	1	2	18	36	22	79
合 計	1	2	25	52	31	111
割 合	0.90%	1.80%	22.52%	46.85%	27.93%	平均介護度 3.99

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時） 8・22日 民謡クラブ 9日 電電萩の会歌の会 24日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
5 月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時） 13・27日 民謡クラブ 29日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
6 月	あじさい、父の日レクなど（各フロア随時） 10・24日 民謡クラブ 11日 電電萩の会歌の会 13日 静岡ホーム保育園訪問 15日 英和女学院 花の日訪問 26日 書道クラブ	英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 静岡ホーム保育園 個人ボランティア
7 月	七夕レクなど（各フロア随時） 8・22日 民謡クラブ 9日 電電萩の会歌の会 24日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
8 月	夏のレクなど（各フロア随時） 5・19日 民謡クラブ 13日 電電萩の会歌の会 28日 書道クラブ	電電萩の会 個人ボランティア
9 月	敬老週間など（各フロア随時） 9・30日 民謡クラブ 8日 敬老式典 10日 電電萩の会歌の会 23日 柳町水神社祭	電電萩の会 柳町町内会・婦人会 個人ボランティア
10 月	運動会レクなど（各フロア随時） 7・21日 民謡クラブ 8日 電電萩の会歌の会 中旬 入居者健康診断 28日 総合防災訓練	電電萩の会 静岡市追手町消防署等 柳町町内会 個人ボランティア 英和女学院中等部・高等部

11月	運動会レクなど（各フロア随時） 12・26日 民謡クラブ 2日 英和女学院 秋の収穫訪問 13日 電電萩の会歌の会 中旬 インフルエンザ予防接種	英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 個人ボランティア
12月	クリスマスレクなど（各フロア随時） 9・23日 民謡クラブ 10日 電電萩の会歌の会	電電萩の会 個人ボランティア
1月	お正月レクなど（各フロア随時） 6・20日 民謡クラブ 14日 電電萩の会歌の会	電電萩の会 個人ボランティア
2月	節分レクなど（各フロア随時） 3・17日 民謡クラブ	個人ボランティア
3月	雑祭レクなど（各フロア随時）	

* その他、おやつバイキング、デイサービスでの歌のボランティア等に参加

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日
余暇	電電萩の会歌の会	月 1 回	看護	総回診	月 4～5 回
	民謡クラブ	月 2 回		皮膚科往診	月 2 回
	書道教室	月 1 回		歯科指導	月 1 回
	レクリエーション（季節行事）	随 時		入居者健康診断	年 1 回
	外 出	随 時		インフルエンザ予防接種	年 1 回
	リハビリ体操（各フロア）	毎 日		血圧測定	週 2 回
	おやつバイキング	随 時	栄養	嗜好調査	半年毎
	誕生会（各フロア）	月 1 回		体重測定	月 1 回
介護	入 浴	月 8～9 回	防災	季節行事食	随 時
	シーツ交換	月 4～5 回		防災訓練（月 1 回）	総合防災訓練 年 1 回
	ケアカンファレンス	月 10 回程度			
	理 髪	月 3 回			
	美 容	随 時			

2. デイサービスセンター清流の郷

運営概要

2019年4月よりADL維持等加算を算定し、利用者のご家庭での生活をより詳細にアセスメントしています。個々の生活に即した機能訓練の実施に向け、計画の作成や見直しを行いました。特に野外歩行訓練は身体機能、下肢筋力の向上目的だけでなく、外の空気に触れることでリフレッシュできると利用者に好評をいただいています。

ふれあいボランティアの受け入れも2年目を迎え、意見交換会を行いました。職員とは違った視点での意見をいただくことができ、利用者にとってより良いサービスについて考える機会となりました。

今年はインフルエンザの流行は見られませんでした。3月より新型コロナウイルス感染症対策として送迎前の検温・手洗い・送迎車内やデイルームの消毒・換気などをより一層強化し、利用者や職員の感染のリスクを減らすことができました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見 子供の日小物作り	～毎月～
5月	母の日 あじさい作り	カレンダー作り
6月	父の日 七夕飾りつけ	体重測定
7月	七夕祭り 夏祭り準備	体力測定
8月	夏祭り 敬老の日準備	防災訓練
9月	敬老の日 運動会準備	書道
10月	運動会 秋の飾りつけ	季節の小物作り
11月	壁面作り クリスマス準備	～毎日～
12月	クリスマス会 お正月準備	脳トレ パズル 計算 塗り絵
1月	正月遊び 壁面作り	生活機能向上運動（個別）
2月	節分 お雛様作り	集団機能向上訓練
3月	雛祭り 壁面作り	嚙下体操 作業療法

3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

運営概要

特定事業所加算の算定要件として、他法人居宅事業所との事例検討会の開催がありますが、今年は当事業所が主催し「高齢者の自動車運転免許」をテーマに取り上げました。地域の多くのケアマネジャーに参加してもうらうことができ、顔の見える関係づくりができました。

今年度は毎週行うミーティングも当番制でテーマを決める形をとりました。外部への講師の依頼や進行などケアマネジャーにとって必要なマネジメント力を高める良い機会となっています。

また、各ケアマネジャーの担当ケースの交代を数件ずつ行いました。担当が変わり改めてアセスメントを行うことで視点が変わり、利用者にとって良い方向に進んだケース

もありました。

独居や高齢者世帯が増えていく中、在宅での生活が困難となったケースもあり、法人内特養の空床利用でのショートなど相談員と連携を図り、在宅から施設へと切れ目のないサービスを提供することができました。

4. 厚生苑ホームヘルプサービス

ア. 運営概要

本年度から、特定事業所加算Ⅱの算定を開始しました。外部研修にも参加し、ヘルパーミーティングでは KJ 法を用いたグループワークによる内部研修を行うなど、より質の高いサービスの提供ができるよう努めました。

前年度から引き続き、サービス提供責任者が利用者の現状や意向を見極め、できるだけ長く在宅生活が継続できるよう迅速かつ的確なサービスの提供に努めました。

事業運営面では、介護が必要な状態から施設入所までの期間が短くなってきており、ここ数年厳しい状況が続いています。訪問件数は月によって大きく差がありますが、これはガン末期を在宅で看取る方の増加や入所施設の多様化、そして利用者家族の意向により数回のみ訪問、1か月未満で終了となるケースが多くなっていることが要因として挙げられます。

利用者の制度への知識や権利意識も年々高くなってきており、介護保険で認められている範囲だけではカバーしきれないニーズのある利用者が増えてきています。その方々には自費ヘルプという形でサービスを提供しました。

イ. 利用状況

利用世帯状況と構成

(2020年3月31日現在)

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯 (利用料負担率 10・20%)	61 世帯	ひとり暮らし	48 世帯
社会福祉法人減免世帯 (7.5%)	0 世帯	高齢者世帯	5 世帯
生活保護世帯 (0%)	9 世帯	その他	17 世帯
合計	70 世帯	合計	70 世帯

最低年齢 59 歳 最高年齢 98 歳

5. 各種委員会・会議活動

ア. 生活向上委員会

①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

1年を通して、身体拘束ゼロを達成できました。介護士会議で年2回の全体研修を行い、身体拘束にはあたらないうがグレーゾーンと呼ばれる介護が施設内で行われていないかの振り返りと、身体拘束の3要件・マニュアル・帳票について確認を行いました。高齢者虐待については、全職員が「虐待予防・発見チェックシート」を実施し、日常の介護の振り返りを行いました。

②安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリッハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。研修として、介護士会議で危険予知訓練を実施し、グループワークを通して介護事故を未然に防ぐ視点についてディスカッションしました。感染症については、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ、新型コロナウイルスについての研修を行いました。

③食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、毎月の食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、協力歯科医師から毎月歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、委員会内で共有を行いました。委員会での取り組みを第55回関東ブロック老人福祉施設研究総会（静岡大会）で発表しました。

④入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、機能訓練指導員から、体位変換時に生じるずれと圧のメカニズムや背抜きの方法について助言を受けました。浴室を清潔に保てるよう、消毒やメンテナンス方法を共有しました。

⑤広報・アクティビティ委員会

すいか割り、お菓子バイキング、クリスマス、節分など、季節行事をフロア毎に行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。地域行事の「水神祭」に参加し、午前中は施設内でレクリエーション大会を実施し、夕方からは地域の方と一緒にお祭りを楽しみました。季節に合わせた掲示物の作成を行い、利用者や家族の方に楽しんでいただきました。

⑥排泄委員会

紙オムツのあて方講習会を計画し、フロアでの課題をまとめ、介護士会議で実技を踏まえた講習会を実施しました。紙オムツの商品選定やコスト削減についての検討を行いました。利用者にあった排泄介護方法の検討やパットの選定、オムツ外しの取り組みについて検討を行いました。

イ. 会議活動

①基幹会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

②施設運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・栄養士・看護師・フロアリーダー・生活相談員などによる会議を開催し、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

③フロア会議

毎月1回、フロア毎に開催し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容についての検討や決定をしながら、情報の共有を行いました。

④ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。

⑤施設介護職員会議

外部研修報告、内部研修などを計画的に行いました。

⑥通所介護サービス会議

毎月1回、基幹会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑦衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

⑧防火・防災管理委員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。4月には新人職員向けの消火器取り扱い訓練、10月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。12月の柳町防災訓練へ参加しました。

⑨優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2人の参加、法人内居宅介護支援事業所の介護支援専門員を交え、両施設の施設長、副施設長、介護課長、相談員、看護師、栄養士が参加しました。多角的立場から様々な意見を交わし、入所申込者のうち優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。

⑩ミールラウンド

協力歯科医師、看護師、管理栄養士、介護支援専門員、介護職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を、毎月2回行いました。

6. ボランティア活動

ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	5	21	2	19	2	2	-	-	0.70
5	9	19	2	12	7	7	-	-	0.61
6	9	66	3	45	4	4	1	17	2.20
7	6	17	2	12	5	5	-	-	0.54
8	7	17	2	13	4	4	-	-	0.54
9	4	15	2	12	3	3	-	-	0.50
10	6	14	2	9	5	5	-	-	0.45
11	5	29	2	9	3	3	1	17	1.00
12	9	17	2	10	7	7	-	-	0.54
1	5	16	2	14	2	2	-	-	0.51
2	3	6	1	3	3	3	-	-	0.20
3	0	0	0	0	0	0	-	-	0.00
計	68	237	21	158	45	45	2	34	0.64

イ. 活動団体

- ・柳町町内会・婦人会・電々萩の会・英和学院高等部・中等部・静岡ホーム保育園
- ・原田ボランティア・個人ボランティア他

新緑の郷

2019 年度

新緑の郷 優先課題の総括

1. 職員のプライベートに合わせた「働き方改革」を研究

働き方改革検討委員会より、職員へアンケートを実施。2種類あった夜勤体制を17時間夜勤へ統一しました。夜勤の回数についても柔軟に対応しました。

2. 夜勤業務改善の研究と試行

夜勤の体制を17時間と統一したことで日勤帯の業務に厚みができました。しかしながら、業務内容について職員個々で違いがあることが浮かび上がってきました。日中も含め情報共有を行い、介護の標準化（我流介護の改善）が課題となりました。

3. 終末期利用者への多職種間連携を強化した対応

今年度も多くの入居者を看取り介護で送らせて頂きました。前年度から引き続き利用者家族、多職種間での連携と情報共有をはかり最後まで施設で生活していただきました。

4. 生活の中の季節行事を実施

今年度も八雲神社の祭りに参加することにより季節を感じることができました。また、例年行われるお踊り見学のほか、納涼祭、敬老会とレクリエーションを職員が一同となり考え提供し入所者に楽しんでいただきました。

5. 福祉機器の導入と応用

センサーベッドの導入（4台）により夜間の転倒、転落事故の削減ができました。また、働き方改革検討委員が介護福祉機器展を見学し、モニター使用により自施設で使える機器の選定を行い、秋に導入（エアロバック、Hug）をしました。その他、記録システムも11月より試行を開始し2020年3月より正式運用となりました。今後は、介護福祉機器使用の定着が課題となっています。

6. 外部研修、伝達研修による専門性の向上

今年度は外部研修の機会が少ない年でした。内部研修については介護福祉機器についての研修等を行いました。次年度は内部研修についての充実を行い専門性の向上を図ります。

7. 福祉施設における地域の役割と住民との関係作り

例年のとおり、春の浅間神社廿日祭お踊り巡行会所を地域町内会と協力し運営しました。また、八雲神社催事へ利用者として参加、楽しむことができました。

8. 委員会の充実と利用者に対応できる介護技術の応用力の強化

少人数での委員会活動で情報の共有がスムーズにできました。多様化する入居者へ多職種間での連携、情報共有を行い介護の提供ができました。また、介護福祉機器、見守りセンサーの活用で職員、利用者とも安全な介護の提供ができました。

9. サービスにおける人権の尊重と不適切な介護の予防

職員、入居者からの意見、声を聴き取ることを行いました。研修はもとより、直接話合いの場を作り指導を行いました。

10. 空床ベッドの活用による効率化とコストバランスの見直し

今年度も相談員が中心となり看護、介護職員の協力のもと空床をショートステイで埋める事ができました。

主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

月	実施事項	実施日
4月	浅間神社廿日祭 お蹴り見学	3日、5日
	運営会議(働き方改革委員会よりアンケート実施、宿直員公募)	25日(木)
5月	運営会議(駐在職員について、介護現場におけるハラスメントについて、他)	28日(火)
	2019年度監事監査	22日(水)
	職員全体研修会「食中毒予防について」、「働く仲間のキラリを探そう」	27日(月)
6月	職員共済会総会	14日(金)
	運営会議(施設駐在員について、八雲神社茅の輪くぐり他)	17日(月)
	八雲神社(茅の輪くぐり)	30日(日)
7月	運営会議(働き方改革アンケート結果について、Care TEX 名古屋について、納涼祭について)	23日(火)
	職員全体研修会「急変時の対応、気付き」	29日(月)
8月	納涼祭	14日(水)
	運営会議(納涼祭反省、柳町水神祭について)	27日(火)
	おやつバイキング	28日(水)
9月	職員健康診断	
	敬老会	8日(日)
	八雲神社(日待祭)	14日(土)
	運営会議(人事異動について、福祉機器デモ機について)	25日(水)
	職員全体研修	中止
10月	長期衣替え	4日(金)
	入居者健康診断	18日(金)
	運営会議(防災訓練について、床面清掃、監事監査について)	24日(水)
11月	入所者インフルエンザ予防接種	5日、19日
	監事監査	7日(木)
	防災訓練	11日(月)
	床面清掃	18日、20日、21日
	運営会議(記録システムについて、等)	25日(月)
12月	福祉機器説明(エアロバック、Hugについて)	3日、4日、5日
	職員共済会忘年会	5日、11日
	理事会、評議委員会	18日(水)
	クリスマス喫茶レク	19日(木)
	運営会議(年末年始について、施設設備点検について、等)	25日(水)
1月	運営会議(人事異動について、等)	24日(金)
	市指導監査	28日(水)
2月	運営会議(感染症対策について(初動体制、コロナウイルス関係)等)	25日(火)
3月	コロナウイルス感染症対策のため会議等は中止となる	

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

ア. 運営概要

本年度は2018年末より発足した『働き方改革検討委員会』により、介護福祉機器『Hug』、アシストスーツ『エアロバック』の導入を行いました。次いで記録システムの導入により職員への介護負担軽減を図りました。今後は導入した介護福祉機器の評価を行い、さらなる活用を広げていきます。

利用稼働については、累計前年比で99.97%、前年差で△4人となりましたが計画は達成することが出来ました。職員の協力・連携により、空床を上手く活用できたことが計画達成の要因であると考えます。

また、本年度は19名の方の退所がありました。ご家族より『ここに入所して良かった』、『ほんとに良くしてくれてありがとう』等の言葉をいただきました。介護職員、看護職員、相談員の連携とご家族との情報の共有が上手くできたことが大きな要因と考えます。

しかしながら、入所申込者の人数については減少の傾向があり、長期入所待機者の確保に苦慮することがみられています。今後は、申し込みの問い合わせには柔軟な対応を行うなど、長期入居待機者の確保に努めてまいります。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2020年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	9	—	—	9
女	29	1	—	30
合 計	38	1	—	39

■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	—	—	—	—	—	—
	60～64	—	—	—	—	—	—
	65～69	—	1	—	—	—	1
	70～74	—	—	—	—	—	—
	75～79	1	—	—	—	—	1
	80～84	1	2	—	—	—	3
	85～89	3	7	—	1	—	9
	90～94	3	11	—	—	—	13
	95～99	1	8	—	—	—	9
	100～	—	—	—	—	—	—
平均年齢		男 87.5 歳		女 90.56 歳		全 体 89.87 歳	

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	－	2	1	4	2	9
女	1	－	7	15	7	30
合計	1	2	8	19	9	39
割合	2.56%	5.12%	20.51%	48.71%	15.38%	平均介護度 3.46

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4月	3日、5日 浅間神社廿日祭 お踊り見学 5～6日 お花見外出レク 10日 フラワーアレンジメント 26日 書道教室	北番町町内会 個人ボランティア（1人）
5月	9日 籠上中学成人育成ボランティア 15日 フラワーアレンジメント 17日 おやつレク（ゼリー作り） 28日 書道教室	個人ボランティア（1人）
6月	12日 フラワーアレンジメント 22日 書道教室 30日 八雲神社 茅の輪くぐり	北番町町内会 個人ボランティア（1人）
7月	10日 フラワーアレンジメント 17日、18日 スイカ割り 19日 書道教室	個人ボランティア（1人）
8月	14日 納涼祭、おやつレク 21日 フラワーアレンジメント 23日 書道教室 28日 おやつバイキング	個人ボランティア（4人）
9月	11日 フラワーアレンジメント 14日 八雲神社 日待祭（福引） 16日 敬老会お祝い 20日 書道教室	北番町町内会 個人ボランティア（1人）
10月	9日 フラワーアレンジメント 11日 書道教室	個人ボランティア（1人）

11月	13日 フラワーアレンジメント 15日 書道教室 17日 運動会・喫茶レク 22日 大正琴『南部琴の会』	大正琴『南部琴の会』 個人ボランティア（3人）
12月	11日 フラワーアレンジメント 13日 書道教室 19日 クリスマス会、喫茶レク	個人ボランティア（1人）
1月	15日 フラワーアレンジメント 17日 書道教室	個人ボランティア（1人）
2月	3日 節分レク 12日 フラワーアレンジメント	個人ボランティア（1人）
3月	コロナ感染症対策の為 受入れ中止となる	

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日
余暇	踊り鑑賞と歌う会	随 時	看護	総回診	月4～5回
	書道教室	月1回		皮膚科回診	月1回
	フラワーアレンジメント	月1回		血圧測定	週2回+随時
	外 出	随 時		検 尿	随 時
	レクリエーション	随 時		健康診断	年1回
	リハビリ体操(フロア毎)	毎 日		インフルエンザ予防接種	年1回
介護	入 浴	月8～9回	栄養	特別メニュー	月1回
	シーツ交換	月4～5回		嗜好調査	年1～2回
	ケアカンファレンス	月10回程度		体重測定	月1回
	理 髪	月2回	防災	防災訓練（月1回）	総合防災訓練年 1回
	美 容	-			

2. デイサービスセンター新緑の郷

運営概要

今年度も他事業所が敬遠する重度な認知症の方の受入れを積極的に行いました。この結果、繋がりができた居宅介護支援事業所もあり、コンスタントに新規利用者を紹介していただくことができました。作業療法士が担当者会議にも参加し、機能訓練の充実を図り実施内容をわかりやすく家族や他事業所の職員に伝えることを心がけ、アピールの機会としました。

しかしながら、利用者が体調を崩され休止や入院、施設入所へ移行するなど、利用数が安定せず、著しく稼働率が低下してしまいました。最終的には累計で、目標を9.65%下回り△1,000人超となってしまいました。

上記を踏まえ、次年度は利用者を獲得することを軸として、居宅支援事業所へ情報の発信と収集を行い選ばれるデイサービスになることを目標とします。また、デイサービスプログラム及び業務の見直しや改善を図ってまいります。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等	
4月	お花見	カラオケひまわり会、	毎日のレク
5月	運動レク	J A ひまわりの会、ひとみ会	ちぎり絵
6月	運動会	中山さんと歌う会、翔舟会	クラフト
7月	七夕飾り、祭準備	若松町ナツメロ同好会、	書道クラブ
8月	夏祭り	ウクレレ『トロピカルズ』	頭脳レクリエーション
9月	敬老会	シルバーロマン、書道教室、	運動レクリエーション
10月	運動レク	新聞すみれ、富士の会	カラオケ
11月	貼り絵	西部民踊の会、フルト&歌、	塗り絵
12月	ゲーム	うさぎ、やまぼうし太極拳	
1月	新年会	ペパーミント、	
2月	節分祭		
3月	ひな祭り	毎月：カレンダー作り・体重測定・防災訓練	

3. 各種委員会・会議活動

ア. 生活向上委員会

①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

身体拘束廃止委員会では、毎月、身体拘束に該当する利用者の確認を行っています。不適切ケアについては、意見交換、情報を共有化し各職員に伝達することができました。グレーゾーンの明確化と身近な例から対応を検討しました。職場の環境作りも大切との共通認識を持ち、職員間のコミュニケーションを図るように努めました。

②安全管理・感染症対策委員会

事故対策・安全管理委員会では、ヒヤリハット、事故報告書の集計を行い事故の分析を行い重大事故に繋がらない対応方法を検討しました。そして、同じ事故を繰り返さないためフロア会議で検討を行い、事故予防への意識強化を図りました。また、それぞれの時期に起こる感染症の対策について、話し合いを行いました。

全体会議では、「緊急事態発生時対応」と「感染症対策」について研修会を行いました。

③口腔ケア・排泄委員会

協力歯科医から利用者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れえました。また、排泄パットについての見直しを行いコスト削減に努めました。

④褥瘡予防対策委員会

「体交枕の入れ方」を学び、職員に周知していくことができました。職員全体研修の中で体交枕の有効利用について実際に職員に体験してもらい正しい姿勢等を学ぶことができ褥瘡予防に努めることができました。

⑤広報・アクティビティ委員会

季節行事においては、北番町町内会と連携し八雲神社催事へ参加しました。毎月、各フロアの掲示板を活用した利用者の作品作りや写真の掲載をおこないました。また、広報紙を法人のホームページに掲載し、施設内の生活を外部にアピールすることができました。

⑥食事委員会

栄養士が中心となり、委託先の事業所と話し合いながら利用者が食べやすい食事を提供することができました。食事形態については摂取状況をモニタリングし、形態の変更や見直しを行いました。

イ.会議活動

①基幹会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

②施設運営会議

毎月1回、施設長・課長・職種長・フロアリーダー・生活相談員等による会議を開催、事業計画の作成と実施状況の報告、法人動向の報告、厚生苑 新緑の郷運営に関する検討と決定、情報の共有化等に努めました。

③フロア会議

月1回開催、フロア毎、利用者のモニタリングを行い、状態の変化に応じた介護ができるよう検討、情報の共有化を図りました。また、運営会議、各委員会からの要請事項について検討し、具体的な取組方法について確認をしました。

④ケアカンファレンス（担当者会議）

利用者・家族・介護支援専門員・相談員が参加して、個別介護サービス計画について会議を開催しました。なお、内容によっては、施設長・各職種も同席しました。

⑤施設全体会議

本年度はコロナ感染対策もあり年3回開催となりました、職員のスキルアップのため、グループディスカッション形式の内部研修を開催しました。また、外部研修報告も併せて行いました。

⑥通所介護サービス会議

月1回開催、行事、レクリエーションの企画・準備、内部研修、通所介護事業運営に関する検討し決定します。利用者のモニタリングと情報の共有化等に努めました。

⑦防火・防災管理委員会

防災に関することにおいて会議を開催しました。夜間想定防災訓練時には、設備会社の方から機器の発報方法、実際に消火栓、水消火器を使用し初期消火を学びました。

⑧優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

厚生苑清流の郷と合同で開催しました。外部より第三者委員2人を含め入所申込者の中から優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。

4. ボランティア活動

ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	10	51	7	47	3	4	-	-	1.70
5	7	23	4	19	3	4	-	-	1.35
6	10	30	5	24	5	6	-	-	1.00
7	11	38	7	33	4	5	-	-	1.23
8	7	20	3	15	4	5	-	-	0.65
9	8	28	6	25	2	3	-	-	0.90
10	10	29	6	24	4	5	-	-	0.97
11	9	44	6	40	3	4	-	-	1.47
12	6	19	3	15	3	4	-	-	0.61
1	7	24	4	20	3	4	-	-	0.77
2	4	16	2	13	2	3	-	-	0.55
3	0	0	0	0	0	0	-	-	0.00
計	89	322	53	275	36	47	-	-	0.88

イ. 活動団体

- ・ J A 静岡市助け合いグループ(ひまわりの会)・若松町ナツメロ同好会
- ・ 榎会・ウクレレ同好会トロピカルズ・西部民謡の会・ウープス・シルバーロマン
- ・ ふじの会・籠上中学校 P T A 成人教育ボランティア・中山さんと歌う会
- ・ やまぼうし (太極拳)・北番町町内会・北番町婦人会・若松町婦人会他